

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

No. **68**
2021年
9月10日

〒680-0811 鳥取市西品治806(鳥取県労連気付)
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

最近の生活保護の動き

鳥取県生活と健康を守る会連合会

なかがわ きよし
会長 **中川 淑** さん



1950年11月生まれ
1977年 米子生活と健康を守る会事務局に就任
1999年 米子医療生協理事に就任
現在、米子医療生協常務理事、米子生活と健康を守る会事務局長
鳥取県生活と健康を守る会連合会会長

◇はじめに◇

生活に困窮している人たちが「生活保護が気兼ねなく利用出来る制度にする為に」を合言葉に全国各地の「生活と健康を守る会」は運動をしてきました。

現代社会では考えられない悲劇も多く発生しました。窓口での改善を求め各団体や国と交渉し、国会でも取り上げられ改善は進んできました。

しかし、生活に困り生活保護が利用出来る人の中で、実際に生活保護を利用されている世帯は二割程度と、低い実態は改善されていません。この数値を生活保護の「捕捉率」といいます。イギリスやフランスでは九十%を超えているのに、日本では何故こんなに低いのでしょうか？大きな理由

のひとつは、社会の中で意図的な「生活保護ハッシング」です。かつて、与党代議士が芸能人の母親が生活保護を利用していることなどをとらえ、あたかも不正受給のように発言し、生活保護扶養義務を歪めた宣伝をしました。

申請に足を踏み出せない壁は、様々ですが、ひとつに、「扶養照会」があります。申請すると、福祉事務所は調査の一環として親・きょうだい・子に対して生活支援が出来ないかを問いかけるのです。この事は、本人にとっては大きな精神的負担になります。

◇今年度の大きな変化◇

最近の国会の論戦で、安倍前首相は「誰でもためらわずに利用を」、菅義偉首相は「最終的には生活保護がある」、田村憲久厚労大臣は「扶養照会は義務でない」と答弁しました。

これからの国会でのやりとりと全国での運動、直接生活保護担当課との交渉などの結果、今年度、「扶養照会」に関して「生活保護手帳別冊問答集」の改訂が行われました。

読者の皆さんも、お住まいの役所に向いていくとか、実際に申請希望の方と同行して「生活保護申請の窓口の実態」をご体験いただいて、県下の隅々で変化の風を吹き起こそうではありませんか。

◇これからの課題◇

全国でそんな風が吹けば、「捕捉率」は一〇〇%に近付き、誰もが「気兼ねなく申請でき」、「健康で文化的な最低限度の生活を営む」ことが出来るようになるでしょう。

これまで「生活保護の申請しか生きる道がない」と思いながらためらっていた多くの方々には道が開きました。

わたしたち「生活と健康を守る会」は、その新たな窓口対応が始まるはずの現場の変化はどう

では、新年度になって、新たな窓口対応が始まるはずの現場の変化はどう

奮闘する決意です。

低額決着を押し返した最賃闘争

鳥取県労連 議長 田中 暁

今年の鳥取地方最低賃金は、中央最低賃金審議会が示した引き上げ目安額28円を1円上回る29円引き上げ、時給821円で決着しました。金額的には不十分ではありませんが、私たちの声と運動が、コロナ禍で2円の引き上げにとどまった昨年の最賃改定を一定程度押し返しました。(全国の改定額は表参照)

鳥取県労連は毎年、鳥取県と鳥取労働局に「最低賃金引き上げと全国一律最低賃金制度の確立」及び「引き上げに対応した中小・小規模事業者への支援策拡充」等を求めて要請を行うとともに、



鳥取県への要請行動＝6月4日、鳥取県庁

議会に対しても同様な内容で国に見解書の提出を求め、また、鳥取地方最低賃金審議会には「最低賃金改定にあたっての意見書」の提出、傘下の労組員による意見陳述、審議会の傍聴行動、「異議申立書」の提出を行っています。審議会では、労働側委員(現状は連合が独占)が県労連提出の「意見書」や意見陳述に賛意を示したり、使用者側委員が、県労連の「最賃引き上げによって影響を受ける中小零細企業への直接支援策(例えば社会保険料の事業主負担の減免など)」の提案と同じような主張をされるなどの動きも生まれています。

こうした変化は、毎回欠かさずに「意見書」を提出し、審議会で見直し議論が始まることになってきたことが、委員のみならず影響を及ぼしていると思っています。全労連は、最賃1500円への引き上げと全国一律最賃制度の確立を求めて運動をすすめています。その取り組みの中で、これまでに22の都道府県労連が「最低生計費試算調査」を行っていき、その結果、最低生計費は最賃額の低いAランク(東京都など6都府県)の地方でも、最賃額の低いDランク(鳥取など16県)の地方でも、月額26万円(時給換算1500円)程度で地域間格差はほとんどなく、全労連の最賃1500円、全国一律最賃制度確立の要求を裏付けています。

また、全国一律最賃制度に関しては、2019年に自民党内に「最低賃金一元化推進議員連盟」が発足し政府に提言したり、中央最低賃金審議会

でランク制度の見直し議論が始まることになっていきます。こうした動きも全労連と都道府県労連の長年の運動の成果です。ところで、鳥取地方最低賃金審議会は全国的に注目される先進的な運営が行われています。それは、2008年4月に審議会会長に就任された現鳥大名誉教授の藤田安一先生が確立された、「鳥取方式」と呼ばれる審議会の民主的運営スタイルです。その内容は、①審議会を専門部会も含め全面公開する、②傍聴の自由化(人数制限なし)、③参考人の意見陳述、④審議会以外での水面下の交渉禁止です。藤田先生は「鳥取方式」について「私が審議会の完全公開によってめざしたことは、(中略)原則公開とうた

いながら、肝心なところは非公開となっている最賃審議会のあり方を正し

都道府県	ランク	時給額(円)	引上額(円)
北海道	C	889	28
青森	D	822	29(+1)
岩手	D	821	28
宮城	C	853	28
秋田	D	822	30(+2)
山形	D	822	29(+1)
福島	D	828	28
茨城	B	879	28
栃木	B	882	28
群馬	C	865	28
埼玉	A	956	28
千葉	A	953	28
東京	A	1,041	28
神奈川	A	1,040	28
新潟	C	859	28
富山	B	877	28
石川	C	861	28
福井	C	858	28
山梨	B	866	28
長野	B	877	28
岐阜	C	880	28
静岡	B	913	28
愛知	A	955	28
三重	B	902	28
滋賀	B	896	28
京都	B	937	28
大阪	A	992	28
兵庫	B	928	28
奈良	C	866	28
和歌山	C	859	28
鳥取	D	821	29(+1)
島根	D	824	32(+4)
岡山	C	862	28
広島	B	899	28
山口	C	857	28
徳島	C	824	28
香川	C	848	28
愛媛	D	821	28
高知	D	820	28
福岡	C	870	28
佐賀	D	821	29(+1)
長崎	D	821	28
熊本	D	821	28
大分	D	822	30(+2)
宮崎	D	821	28
鹿児島	D	821	28
沖縄	D	820	28
全国加重平均		930	28

()内は目安からの上積み額

鳥取県弁護士会シンポジウム (憲法改正問題に取り組む全国アクションプログラム)

日時: 9月20日(月・敬老の日)

午後1時30分開場 2時開始～4時30分終了

WEB講演「コロナ禍の中で考える憲法と政治」

「日本学術会議任命拒否」当事者の内の1人

東京慈恵医科大学教授

おざわ りゅういち

講師 小澤 隆一 先生



▼県内3会場をWEBでつなぎ開催します

メイン会場: さざんか会館5階大会議室

サテライト: 米子コンベンションセンター国際会議室

倉吉交流プラザ視聴覚ホール(パークスクエア内)

入場無料・事前予約不要・要マスク・託児あり(要予約)

主催/鳥取県弁護士会 共催/日本弁護士連合会 中国地方弁護士会連合会

◆シンポ応援有志による直前「スタンディング」アピールを行います◆
鳥取: 駅前北口周辺、倉吉: 駅前南口正面、米子: 文化ホール周辺
12時30分開始 スタンディング、リレートークをします。
プラカード、のぼりなどご持参ください。

米軍・自衛隊機による低空飛行訓練 若桜町で署名活動

5月15日と23日、市谷県会議員・金田鳥取市議員・中尾若桜町会議員を含め、2日とも7名で低空飛行が頻繁に行われている若桜町で署名活動を行い、飛行の様子を住民の皆さんにお聞きしました。つく米地域では「上空で方向を変え氷ノ山の方向に飛んでいる。」「音と振動で恐怖を感じる。」「と言っておられました。また町長経験者の方の話も聞けました。

天候が良かったので農作業などで留守の家庭が多く、あまりお会いすることができませんでしたが、住民の方の感想が聞けて様子が分かりました。署名活動後、氷ノ山中腹にある宿泊施設「氷太くん」で昼食をいただきながら、「ここに監視カメラ・騒音計が設置できたら最適だなあ。」と参加者で語り合いました。

そらはつながら(低空飛行訓練を考える会)

事務局 下田 和実

「会」は9月3日、鳥取県と若桜町に対し、低空飛行訓練の中止を申し入れ、1370筆の署名を提出しました